

# エンタープライズ ホーム画面 5.0

リリース ノート - 2023 年 2 月

## 概要

- [Google Play](#) および [Zebra サポート ポータル](#) で利用可能になりました
- 新しいパッケージ名 (以前のバージョンのアンインストールが必要です。以下を参照)
- 以前の EHS バージョンとパッケージ名は廃止されました
- デバイスの OS イメージの更新が必要な場合があります (下記の「OS 更新」を参照)
- 最近使用したアプリ ボタンの動作を強化します
- システム設定制限の動作を強化します

### 重要:

- 新しい EHS バージョンをインストールする前に、以前の EHS バージョンをアンインストールする必要があります。EHS 5.0 APK には、現在、以前のパッケージ名 (com.symbol.enterprisehomescreen) を上書きインストールできない新しいパッケージ名 com.zebra.mdna.enterprisehomescreen が含まれています。デバイスに EHS 5.0 をインストールする前に、指示に従って [EHS をアンインストール](#) します。以前のインストールの EHS 構成ファイルが、構成ファイルの場所にまだ存在している場合、以前の構成が自動的に再適用されます。

## デバイスのサポート

- このリリースで追加された新しいデバイスのサポート: Android 11 を実行している TC58、TC73、および TC78

[サポートされているすべてのデバイスを表示](#)

## エンタープライズ ホーム画面 5.0 の新機能

- [Google Play](#) および [Zebra サポート ポータル](#) で利用可能になりました
- パッケージ名が変更されました。EHS 5.0 以降のバージョンには、新しいパッケージ名が付けられます。
  - EHS 5.0 (以降) のパッケージ名: com.zebra.mdna.enterprisehomescreen
  - 以前のパッケージ名: com.symbol.enterprisehomescreen
- 以前の EHS バージョン (以前のパッケージ名) は **EHS 5.0 にアップグレードできません。**  
**5.0 より前の EHS バージョンは、アンインストールする必要があります。**  
Android では、別のパッケージ名で提供された新バージョンにアプリをアップグレードすることができません。詳細については、[EHS セットアップ手順](#) を参照してください。
- **すべての新機能およびデバイスのサポートは、EHS 5.0 (以降) に追加され、新しいパッケージ名で提供されます。**  
以前のバージョンとパッケージ名は廃止されました。
- 以前の EHS パッケージ名を含むソフトウェア、システム、およびファイルは、新しいパッケージ名に更新する必要があります。  
対象には以下が含まれますが、以下に限定されません。
  - AccessMgr で作成されたリストなど、すべての「allowlist」または「whitelist」
  - エンタープライズ ホーム画面を起動するインテント

- キオスク モードの有効化/無効化に使用する**インテント**。詳細については、次を参照してください: [キオスク モードを無効にする](#)
- EHS 5.0 より前のバージョンをインストールするために使用する **StageNow** プロファイル
- EHS 5.0 より前のバージョンをインストールするために使用する **EMM** システム
- 文字列 「`com.symbol.enterprisehomescreen`」 のハードコード インスタンス
- **OS 更新:** EHS 5.0 との互換性維持に必要とされる最低限のデバイス OS イメージは次のとおりです。
  - Android 10 を実行しているデバイス: LifeGuard 更新 **10-16-10.00-QG-U114-STD-HEL-04** (以降)
  - Android 11 を実行しているデバイス: LifeGuard 更新 **11-23-13.00-RG-U00-STD-HEL-04** (以降)
- **最近使用したアプリ ボタンで可能になった操作:**
  - 短く押すと、最近起動したアプリケーションのリストが表示されます
  - 長押しすると画面の分割が可能になります。  
詳細については [TechDocs](#) を参照してください。
- **現在可能になったシステム設定制限:**
  - ユーザー補助ありのシステム設定制限
  - ユーザー補助なしのシステム設定制限の詳細については、[TechDocs](#) を参照してください。

## 解決された問題

- SPR: 46010 - EHS では、最近使用したアプリ ボタンを短く押す操作と長く押す操作の両方をサポートするようになりました。
- SPR: 47949 - ユーザーが最近使用したアプリケーションをクリアした場合に、EHS は、クイック ステップ ランチャーに戻らなくなりました。
- EHS は、ユーザー補助の有無にかかわらず、システム設定制限の両方をサポートするようになりました。

## 使用上の注意

- なし。

## 既知の問題

- 最近使用したアプリ ボタン操作パネルは英語でのみ表示されます。

## 重要なリンク

- [インストールとセットアップの手順](#)
- [サポートされているすべてのデバイスを表示](#)

## エンタープライズ ホーム画面について

Android 用のエンタープライズ ホーム画面を使用すると、管理者はカスタム コードを書かずに、Zebra デバイスでアプリや設定へのアクセスを簡単に制御できます。シンプルなタッチ インタフェースを使用することで、EHS は簡単に 1 つまたは複数の指定されたアプリケーションに使用を制限し、デバイス設定の変更を防止し、ファイル システムをロック ダウンします。数秒で設定でき、MDM 経由で設定を展開できます。EHS 設定は、読みやすく、必要に応じて手作業で編集できる、シンプルな XML ファイルに保存されます。